

Title	神戸市外国語大学 外国学研究 XVIII 表紙
Author(s)	
Citation	神戸市外国語大学外国学研究. 18
Issue Date	1988-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/21310
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

内陸アジア言語の研究 III

蒙古語訳『普賢行願讚』の研究

樋口 康一

ウイグル文『阿毘達磨順正理論』

—大英図書館所蔵 Or. 8212-75B から—

庄垣内 正弘

STUDIES ON THE INNER
ASIAN LANGUAGES
III

The Bhadracaryāpraṇidhānarāja in Mongolian 1
Koichi Higuchi

Passages from Abhidharma-nyāyānusāra-śāstra
Quoted in the Uighur Text Or. 8212-75B,
British Library159
Masahiro Shōgaito

1 9 8 7

は し が き

昨年度につづいて本年、この第3巻の出せたことは有難いことである。更に有難いことには来年度の第4巻の出版も決定している。この種の定期刊行雑誌が日本に存在しないところから、執筆希望の個人的申し出がかなりある。今の段階では、班員以外の投稿を受け付けることはできないが、なんとか一般に公開できる出版物に発展させるよう努力してみたい。とりあえず来年度は班員数を増やし海外からの論文なども掲載する予定である。

第3巻では、樋口康一氏の蒙古仏典『普賢行願讚』の研究を提出した。同氏の論文は蒙文『普賢行願讚』のテキスト校訂を基礎としながら、その言語の蒙古語史における役割と、このテキストの文献学的位置づけとについて記述したもので、N. Poppe や W. Heissig らの仏典研究を継ぐものとして重要である。なお、庄垣内の提出したウイグル語テキストは大英図書館蔵の Or. 8212-75 B に含まれる『阿毘達磨順正理論』からの引用文を抜粋したもので、むしろ前掲論文の埋草の役割を果たしている。

1988年3月1日

アジア大陸の言語研究班

庄垣内 正 弘